

診療情報および病理組織検体を利用した臨床研究について

森山記念病院 脳神経外科および病理診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録および診療に用いた検体から得られたデータをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2017年3月1日～2023年3月31日の間に、下垂体腺腫のために森山記念病院に入院し、手術を受けられた18歳以上の方

【研究課題名】

下垂体腫瘍における転写因子発現に関する研究

【研究の目的・背景】

下垂体腺腫の発生には転写因子（転写調節因子）が関与していることは知られており、主に3系統に大別されます。確認する手法には、遺伝子学的検査の他に免疫組織化学検査が臨床応用されており、広く用いられております。しかしながら、免疫組織化学検査で、既知の系統を逸脱し複数系統の転写因子が免疫組織化学検査で陽性となることがありますが、その現象に関しては臨床的、病理学的な意義については現時点では報告が少ないです。本研究は転写因子が複数系統発現している下垂体腺腫の方に関して、その臨床的意義および病理組織学的な意義について検証します。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

病院長承認日 ～ 2025年3月31日

【単独／共同研究の別】

共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は森山記念病院病理診断科 井下尚子のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、MRI 画像データ、薬歴、看護記録、病理レポート

手術検体：情報が不足する場合には、免疫組織化学検査を追加し、必要に応じて定量的 PCR、ウエスタンブロット検査を用いて転写因子の発現量を定量的に計測します。

【研究代表者】

森山紀年病院 病理診断科 井下尚子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

森山記念病院 病理診断科 井下尚子

電話 03-5679-1211 (代表)